

読売新聞 きょう（2月24日）のイチ押し

1面など ウクライナ 終戦見えず 露侵略1年

ロシアがウクライナへの侵略を開始して24日で1年となります。米欧から軍事支援を受けるウクライナはロシアの力による現状変更には徹底抗戦し、戦況は東・南部で膠着（こうちやく）、戦争終結の見通しは立たないままです。

- ★ 米欧の推計では、これまでにウクライナ、ロシア双方の兵士計約30万人が死傷し、民間人2万人超が死傷したとみられます。
- ★ 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）によるとウクライナ国外に逃れた難民は、人口の約2割にあたる約808万人に上っています。
- ★ 持久戦に持ち込む構えのロシアに対し、ウクライナが不退転の決意で領土奪還を目指す中、夏以降に転機が到来するとの見方も浮上しています。3面スクリーンで解説しています。
- ★ カラー特別面では、ウクライナの人々の思いや、この1年の戦線の動きなどを図表や写真とともに詳報。また、国際面、経済面、社会面、運動面などでも、関連記事を多数掲載しています。

1面 罪名「不同意性交罪」へ 同意なしは処罰 明確化

法務省は刑法の「強制性交罪」を「不同意性交罪」に罪名変更する方針を固めました。「強制わいせつ罪」は「不同意わいせつ罪」に改めます。性犯罪規定を見直すため、今国会に提出予定の改正法案に盛り込みます。（本紙の特ダネです）

- ★ 被害者団体の要望を踏まえた対応で、同意のない性行為が処罰対象になることを明確に示す狙いがあります。

他紙と比べて

毎月最終金曜日の朝刊「科学・医療面」に掲載している「医の現場」は、記者が医療や健康に関する気になる現場に飛び込み、医師や患者らから幅広く取材しています。本日の朝刊では、国立循環器病研究センター（大阪府吹田市）に開設された、日本初の「循環器病周産期センター」を採り上げました。心疾患のある女性を妊娠前から出産後まで切れ目なくサポートする最新の仕組みを、イラストを使ってわかりやすく紹介しています。